

バイオを知る

# くらしとバイオ LETTER 12

NPO 法人 くらしとバイオプラザ 21

2017年4月号

## 活動報告



### サイエンスアゴラ 2016 シンポジウム

#### 「機能性表示食品制度が始まって1年半」

2016年11月6日、日本科学未来館で開かれたサイエンスアゴラに今回も出展しました。今年度は、制度発足前からくらしとバイオプラザ21が注目してきた機能性表示食品制度を採り上げました。株式会社グローバルニュートリショングループ 代表取締役 武田猛さんは世界的視点から「国内外の食品の機能性表示食品制度」のテーマで、そして消費者庁長官としてこの制度の設置に尽力され、現在は一般社団法人 消費者市民社会をつくる会代表の阿南久さんからは「消費者の“選択力”アップ」のタイトルでそれぞれお話をいただきました。自分で自分の健康と食生活の状況を知ったうえで、補助的に利用するのが機能性表示食品の基本であること、情報はすべてと言っていいほど開示されているので消費者の選択眼が最重要であること、そしてアカデミアにも声をあげてもらいたいというスピーカ者の提言で、会は締めくくられました。



## 定例総会 記念講演のお知らせ

昨年のサイエンスアゴラやコンシューマーズカフェでお話いただいた武田氏に、改めて機能性表示食品についてのお話を伺います。今、注目されている話題です。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

日時:2017年5月18日(木) 15:30~16:30

会場:銀座フェニックスプラザ

講師:株式会社グローバルニュートリショングループ 代表取締役 武田 猛 氏

タイトル:「機能性表示食品ビジネスの展望」(仮)

武田氏プロフィール:

アピ株式会社、サニーヘルス株式会社を経て、2004年1月株式会社グローバルニュートリショングループ設立、現在に至る。

B to B、B to C ビジネスの経験を踏まえ、海外企業の日本市場参入及び国内企業の海外市場進出の支援、新規事業の立ち上げ、新商品開発からマーケティング、オペレーションまでの実務経験を積んだ実践派コンサルタントとして活躍中。現在まで、国内外合わせて400以上のプロジェクトを実施している。機能性表示食品の届出支援の経験も豊富にあり、農水省の補助事業や地方自治体のサポート事業にも参画している。執筆・講演多数。

お申込み/お問い合わせ:くらしとバイオプラザ21までご連絡ください。



## 2016年9月24日 第11回 ヒトゲノムを用いる実験教室「私たちのDNA」

今回で11回目となる実験教室は、東京農工大学 遺伝子実験施設との共催、特定非営利活動法人個人遺伝情報取扱協議会、バイオ・ラッド ラボラトリー株式会社協賛、東京テクニカルカレッジ・バイオ科の協力を得て、開催しました。講義内容が濃く、本格的な実験が体験できると、毎回参加者から好評をいただいています。同大 遺伝子実験施設・丹生谷博先生、東京テクニカルカレッジ・バイオ科の大藤道衛先生を講師に、そして、ゲスト講師として、早稲田大学 社会科学総合学術院の横野先生をお迎えし、「差別」についてお話しいただきました。



## 2016年11月22日 コンシューマーズカフェ 「福島県の畜産業復興のための消費者意識調査と情報提供」

講師に東京大学大学院農学生命科学研究科食の安全研究センター長 関崎 勉さんをお招きし、平成23年から福島県の畜産業復興のために行ってきた消費者意識調査結果と同センターのリスクコミュニケーション活動についてお話しいただきました。学校給食に係る福島県産食材の利用について栄養教諭を対象とした調査を通し、知識量や関心度の低下を防ぐための情報提供、そのためのリスクコミュニケーション活動の重要性を再認識しました。



## 2016年12月17日、2017年1月21日、28日 バイオカフェ in 大阪

2016年12月17日、2017年1月21日、28日、バイオカフェ in 大阪を三菱化学テクノリサーチと共催で開きました（於 大阪科学技術館）。

第1回 「いまさら聞けない遺伝子組換え」大阪府立大学教授 小泉望さん

第2回 「最近メディアで紹介されている「ゲノム編集」って何？～毒のないジャガイモを創る」大阪大学大学院 村中俊哉さん 第3回 「花の魅力サイエンスで探る」京都府立大学生物資源研究センター 武田征士さん

くらしとバイオプラザ21では、これまでも遺伝子組換え技術、新しい育種技術（BT、ゲノム編集技術を含む）などの新しい技術について啓発活動を行ってきましたが、これらを「育種」のひとつとして、大きな食と農の流れとして考えていきたいと思っています。



## 2017年2月2日 コンシューマーズカフェ 「食品表示の意味を考えよう～加工食品の原料原産地表示を中心に」

一般社団法人「Food Communication Compass」代表 森田満樹さんを招いてコンシューマーズカフェを開きました（於 くすりの適正使用協議会）。最も大切なのは安全性に関わる表示であるということ共有したうえで、今年度検討されている原料原産地表示について解説していただき、本当に必要な情報は何か、話し合いました。ラベルが改版されるたびに関係者には大きな負荷がかかっていることもわかりました。また、2017年度、検討されるといわれている遺伝子組換え食品についてもいろいろな立場から意見交換を行いました。



## カイコのデジタル教材ができました

クイズ形式で子どももおとなも楽しみながらカイコについて学べる教材ができました。見終わるとカイコに会いに行きたくなるはず！一見に値するサイトです。とにかくアクセスしてみてください！

<http://www.life-or.jp/school/kaiko/index.html>



# バイオカフェの この頃



10月7日 SMBC パーク栄 (名古屋市)  
水産研究・教育機構増養殖研究所  
正岡哲治氏  
「魚のバイオテクノロジー  
～新しいブランド魚の開発を目指して」



10月9日 きぼーる (千葉市)  
農研機構 花き研究部門 佐々木克友氏  
「世界にひとつだけの花～先端技術で  
創り出されるステキな新品種～」



10月30日 名古屋市科学館  
農研機構 生物機能利用研究部門  
小松 晃氏  
「新しいおコメをもとめて～従来育種  
からゲノム編集まで」



11月11日 茅場町サン茶房  
第一三共ヘルスケア株式会社 西原良介氏  
「健康の入口はお口から  
～歯周病予防について」



11月25日 東京テクニカルカレッジ  
東京農工大学 丹生谷博氏  
「遺伝子組換え技術の進歩と GM 食品」



12月3日 神奈川工科大学 IT エクステン  
ションセンター  
農研機構 生物機能利用研究部門  
高辻博志氏  
「病気に負けないイネが出来た！  
～植物の戦うしくみを利用して」



12月6日 筑波大学  
筑波大学 有泉亨氏  
「遺伝資源を創生して、農業を再建する」



1月12日 三鷹ネットワーク大学  
農研機構 中央農業研究センター  
安居拓恵氏  
「害虫をコントロールして作物を守る  
～昆虫の性質を利用した害虫防除」



2月10日 東京テクニカルカレッジ  
東京農工大学 石井一夫氏  
「計算機による新しい生物学への招待  
～バイオインフォマティクスから見え  
てくる新しいバイオの世界」

## 茅場町バイオカフェ 会場変更のお知らせ

これまでお世話になった茅場町サン茶房を卒業し、2017年2月より日本橋の門洋菓子店でバイオカフェを開催します。もちろん、おいしいコーヒーと焼き菓子が付きます。どうぞお越してください。

**新会場：門洋菓子店 (東京都中央区日本橋 2-1-10)**

柳谷ビルディング B2、tel: 03-3271-1738

東西線 / 銀座線日本橋駅 B5 出口より 30 秒 (連絡通路連結)

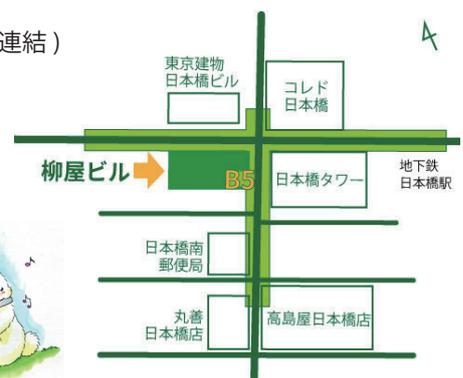
**参加費：700 円、くらしとバイオの会員 500 円**

事前申し込みは不要ですが、前日までにご連絡いただきますと、席をご用意することができます。

今後のバイオカフェ開催予定はくらしとバイオのホームページ

<http://www.life-bio.or.jp/biocalfe/>

をご覧ください。



## 2016 年度 実験教室の報告 実験教室参加者総数 842 名!

2016 年 5 月 14・15 日に開催された日本橋キッズタウンを皮切りに、2017 年 2 月 4・5 日に開催された静岡科学館る・く・るでのサイエンスピクニックまで、14 か所で実験教室を行いました。

内容は食材からの DNA 粗抽出、遺伝子組換えカイコの光る繭を使った実験、色変わりケーキを焼くキッチンサイエンスなどでした。場所や参加者によって、品種改良や医薬品の研究・開発の話題などストーリーを変えたり、単に手を動かすだけでなく実験操作の意味も一緒に考えたり、実験を上手に行うコツを伝授したりなど、様々な工夫を続けています。

大人を対象とする「私たちの DNA」もあります。

中外製薬株式会社、株式会社三菱化学テクノロジーリサーチなど正会員企業のみならずともご一緒に新しい場所を開拓しつつ、開催することができました。



## 学会等での発表

くらしとバイオの活動をまとめ、学会等で発表をしました。自分たちの活動の振り返りになると共に、学会参加者と議論したことは、今後の活動に反映させていきたいと考えています。

12 月 1 日 第 39 回日本分子生物学会年会（ポスター発表）パシフィコ横浜

12 月 11 日 第五回日本サイエンスコミュニケーション協会年会（ポスター発表）筑波大学春日キャンパス

## 講師派遣報告（2016 年 9 月～2017 年 2 月）

2016 年 9 月 26 日～2017 年 1 月 12 日 神奈川工科大学 「科学技術と社会」（全 15 回）

11 月 15 日 農研機構 食品研究部門「何がきになるの～食のリスクコミュニケーション」

11 月 14 日 日本サイエンスコミュニケーション協会 公開講座 「リスクコミュニケーション入門」

11 月 25 日 和光鶴川小学校 出前授業「理科実験工作達人になろう！野菜・肉の細胞から DNA を取り出す」

12 月 02 日 第 39 回日本分子生物学会年会 フォーラム「SNS と科学コミュニケーションを考える」論点提供

12 月 13,20、27 日 東京農業大学「植物バイオ」

1 月 13 日 東京大学付属高校 出前授業 家庭科「遺伝子組換え作物・食品」

1 月 20 日 神奈川工科大学「バイオ製品科学」



**会員募集中!**

私たちの活動を応援して下さる協力（個人）会員  
（1 口 2,000 円～）を常時募集しています！

イベント参加費がお安くなります。（イベントによる）  
イベント情報やこのバイオレター（年 2 回発行）を  
優先的にお届けします。



### < 編集後記 >

4 月から 15 年目に突入します。あらためて、皆様の大きな応援に感謝申し上げます。今年度は新しい育種技術（NBT）に関する日本語のわかりやすい説明資料やカイコの生態・養蚕業・昆虫工場としての展望をまとめた電子教材を作成・公開しました。バイオカフェや実験教室など face to face の活動には、本音でお付き合いできるというメリットはありますが、くらしとバイオの規模では、これらのツールの活用など新しい拡充の発想が必要なきにきているのを感じます。これからも、お知恵・お力を拝借させてください。

また、事務局に 2 月 1 日より田中利一さんが加わりました。さらなるパワーアップをご期待ください。

編集 佐々義子・笹川由紀・二瓶美郷、カット 中村典子

特定非営利活動法人  
**LE** くらしとバイオプラザ21

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-3 日宝茅場町ビル 8 階  
電話 :03-5651-5810 FAX:03-3669-7810 e-mail: bio@life-bio.or.jp

